

永井秀昭選手「声援に感謝」

経験を次の舞台へ



永井 秀昭 選手

本日は、私のためにこのような大きな会を開いていただき、本当にありがとうございました。

オリンピックでは、皆さんの声援が大きな力になりました。メダルの獲得には至りませんでしたが、オリンピックに全力で臨むことができましたし、最後まで諦めることなく挑戦できたことに悔いはありません。また、オリンピックで学んだことは、経験で終わらせるのではなく、次へ生かしていかなければならないという強い気持ちを今、持っています。

小さな頃から夢見ていたオリンピックの舞台に立てたことは、正直に手放しでうれしかったですし、本当に夢がかなったんだなと感慨に浸る部分もありましたが、僕自身のゴールは出場することではなく、メダルを獲得することですので、改めてここで気合を入れたいと思います。

ここまでくるのには、決して平たんな道のりではなく、本当に多くの方々に助けていただきました。本当にありがとうございます。そして、どんな時も支えてくれた家族に、この場を借り、心を込めて感謝したいと思います。

これからまだまだ続くスキー人生の中で、皆さまにいろいろとお世話になることもあるかと思いますが、今後ともご声援とご支援をよろしくお願いします。



祝う会の出席者に感謝の気持ちを伝える
永井選手(4月19日、ホテル安比グランド)



サインをもらう児童はみんな
笑顔に(4月15日、田山小学校)

母校の田山小を 訪問し後輩激励

今年2月に開催されたソチ冬季オリンピック2014にノルディック複合日本代表として全試合に出場し、ラージヒル団体で5位に入賞した田

山出身の永井秀昭選手(30)は、岐阜県野自動車(株)が、市内各所を訪れ、オリンピックでの経験と感謝の気持ちを市民の皆さんに伝えました。

4月3日、永井選手は、県スキー連盟の米川次郎会長と共に市役所を訪れ、田村正彦市長らにオリンピックでの戦いを報告。「皆さんの温かい声援がエネルギーとなり、最後まで全力を出すことができました」と、感謝の気持ちを伝えました。

4月15日には、母校である田山小学校を訪れ、後輩たちに「楽しんで努力すること、夢中になれることをぜひ見つけてほしい」と講演。終了後に

は、多くの子どもたちがサインを求め、列を作りました。

4月19日には、市スキー連盟などが発起人となり「永井秀昭選手の入賞を祝う会」をホテル安比グランドで開催。市民の皆さんや関係者ら約150人が出席し、永井選手の健闘をたたえました。会では、記念品が贈呈されたほか、市から特別表彰として、安比塗の表彰状と慰労金が贈られました。また、永井選手を囲んでのトークショーも行われ、関係者らが永井選手との思い出話に花を咲かせました。

なお、会で永井選手が述べたあいさつの一部を抜粋し、左に掲載します。